

令和 3年 9月

前田美歌 学位論文審査要旨

主 査 山 本 一 博
副主査 加 藤 雅 彦
同 西 村 元 延

主論文

Arterial stiffening is a crucial factor for left ventricular diastolic dysfunction in a community-based normotensive population

(大動脈スティフネスは、非高血圧住民の左室拡張機能障害発生における重要因子である)

(著者：前田美歌、神崎秀明、長谷川拓也、福田弘毅、天木誠、金智隆、朝倉正紀、
浅沼博司、西村元延、北風政史)

令和2年 International Journal of Cardiology Hypertension 第6巻 100038

参考論文

1. Impact of comorbidity of chronic obstructive pulmonary disease on cardiovascular events and prognosis in patients with chronic heart failure: A single-center retrospective observational study

(慢性心不全において、慢性閉塞性肺疾患が心血管イベント及び予後に与える影響：単施設後ろ向き観察研究)

(著者：林浩也、福田弘毅、長谷川拓也、高濱博幸、天木誠、神崎秀明、坂本真里、
前田美歌、佐田誠、伊藤慎、泉家康宏、葎山稔、北風政史)

令和2年 International Journal of Gerontology 第14巻 198項～303項

審 査 結 果 の 要 旨

左室拡張機能障害は近年、心不全発症の重要な因子の一つとして注目されており、高血圧症との関連が示唆されているもののその詳細は不明な点が多い。本研究は、佐賀県有田町における生活習慣病の疫学調査の中から非高血圧一般住民を抽出し、大動脈スティフネスと左室拡張機能障害の関連を検討したものである。大動脈スティフネスの評価は血圧脈波検査によるba-PWVを用い、左室拡張機能障害の評価は心エコー検査によるE/e'を用いておこなった。臨床背景および血液・心エコー検査指標などの因子で調整後の検討で、大動脈スティフネス亢進と左室拡張機能障害の間に独立した関連が認められた。本論文の内容は、心不全の分野で、大動脈スティフネス亢進と左室拡張機能障害の独立した関連を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。